

国民の住宅要求に答えて

55年度供給を目標に

建設・通産両省が共同開発

建設・通産の両省は、「ハウス55」という高品質・低価格の住宅供給システムを明年度より共同研究・開発する構想をもっている。これは、現在のプレハブ等工業生産住宅が需要者の多様な好みに対応出来ないの質的水準を著しく低価格にするのが困難、などという問題点があり、「持ち家住宅」の推進には大きな障害となっているためである。この「ハウス55」の開発目標は、55年度供給開始が可能なセントラルヒーティング付き100平方メートルの広さで五百万円台の昭和五十五年供給を開始する一としており、これにより持ち家住宅の推進を図るといふ。「ハウス55」開発計画の内容を紹介しよう。

I 総合的な供給システム

まず、住宅の低価格化を実現するには、単に一技術を開発すればすむのではなく革新的供給システムを構築する必要がある。これは、個々に開発された要素技術を効果的かつ相互に関連性をもたせて結びつけ、全体としてバランスのとれたシステムとなって実現されるものである。

では、この開発すべき技術にはどのようなものがあるかというところから、住宅設計の面で、建築効果を発揮するためコンピュータを使用し、需要者の好みに応じたプランの諸チェックを行なわせる。それで、自動的に部材等のリストアップをさせるシステム

(2) 製造時点での量産効果・合理化効果を得るために(1)の

また、住宅の低価格化を実現するには、単に一技術を開発すればすむのではなく革新的供給システムを構築する必要がある。これは、個々に開発された要素技術を効果的かつ相互に関連性をもたせて結びつけ、全体としてバランスのとれたシステムとなって実現されるものである。

では、この開発すべき技術にはどのようなものがあるかというところから、住宅設計の面で、建築効果を発揮するためコンピュータを使用し、需要者の好みに応じたプランの諸チェックを行なわせる。それで、自動的に部材等のリストアップをさせるシステム

(2) 製造時点での量産効果・合理化効果を得るために(1)の

II 広範囲な需要をカバー

現在の標準的住宅価格を九〇〇万円(100平方メートル)と考えると、「ハウス55」はこれと同程度の住宅を五〇〇万円台で供給できる他、仕上げ・住宅設備等が幅広く選択できる。その上、住宅設計もその土地の地形・気候・環境に合わせる事ができる。他方、プラン面でも様々な間取りが可能であり、新婚家庭向きから三世帯の同居する大きな住宅までの供給が可能であるほか、住宅以外にも学校・保養施設・福祉施設等への応用も出来るという。

このように広範囲にわたる需要をカバーするのが「ハウス55」といえる。

また、建築費だけの問題だけでなく、現在建てられているプレハブ等工業生産住宅に、

(1) あらゆるものは、規格化される

III 開発する理由

高品質・低価格の住宅は、国民の明日を待たない要請であり、その開発は緊急に実施しなければならない事業である。

また、「ハウス55」供給システムは、プレハブから完成までの総工数を約半減し、既存産業分野に波及させるというハード、ソフト両面の技術的結集が必要である。さらに、この供給システムの開発は、巨額の費用がかかるばかりでなく、急を要するものであるため重視投資を排除し、効果的に遂行されなければならない。そのためには、国が強力に率先して開発を進める必要がある。

IV 真の住宅要望に答える

また、建築費だけの問題だけでなく、現在建てられているプレハブ等工業生産住宅に、

(1) あらゆるものは、規格化される

V 既存企業等への影響は大

このように総合的な供給システムの開発は、商品で需要者の好みにも対応される住宅を低価格で供給できる他、次のような効果ももたらす。

(1) 現実的に低価格で供給できる

(2) 今後の省材・労務費の高騰が予想されている。一などにより、このままではますます住宅取得が難しいものとなるからである。

(3) わが国の建築費は、米国のそれに比べて約二割高である。

(4) 今後とも省材・労務費の高騰が予想されている。一などにより、このままではますます住宅取得が難しいものとなるからである。

VI 開発は国の事業

高品質・低価格の住宅は、国民の明日を待たない要請であり、その開発は緊急に実施しなければならない事業である。

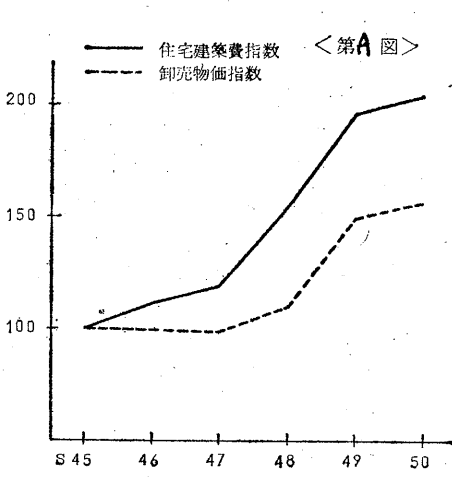
また、「ハウス55」供給システムは、プレハブから完成までの総工数を約半減し、既存産業分野に波及させるというハード、ソフト両面の技術的結集が必要である。さらに、この供給システムの開発は、巨額の費用がかかるばかりでなく、急を要するものであるため重視投資を排除し、効果的に遂行されなければならない。そのためには、国が強力に率先して開発を進める必要がある。

VII 開発の進め方

ハウス55の開発の進め方として、まず、五二年度は基本構想の設定、五三年度は概念設計、五四年度は詳細設計、五五年度は工業化開発(企業化開発)をおこなうこととしている。この三年間の総研究開発費は約三億五千万円を見込んでおり、

五五年度には、いよいよ企業化して、五五年度には本格的に供給が開始されるという計画。

そこで、その事業の準備として、は初年度の五二年度に、国が「ハウス55開発委員会」(仮称)を設置し、システム全体の骨組み(基本構想)に基づいて、システムの真



このように総合的な供給システムの開発は、商品で需要者の好みにも対応される住宅を低価格で供給できる他、次のような効果ももたらす。

(1) 現実的に低価格で供給できる

(2) 今後の省材・労務費の高騰が予想されている。一などにより、このままではますます住宅取得が難しいものとなるからである。

(3) わが国の建築費は、米国のそれに比べて約二割高である。

(4) 今後とも省材・労務費の高騰が予想されている。一などにより、このままではますます住宅取得が難しいものとなるからである。

また、建築費だけの問題だけでなく、現在建てられているプレハブ等工業生産住宅に、

(1) あらゆるものは、規格化される

我々の仕事の友は
みな共済へ

この計画が、工業生産住宅の改善開発に際し、従前「発注」に重点を置いていた建設費が、その施策を「住宅部門」に置き換えたものと見てよいと思う。この計画の実現が、在来の上工務店などのような現場に導くかは熟慮しなくてはならないところだが、それを別にしても、この計画で開発された技術・流通システム等を在来の上工務店が自由に利用出来るならば、中小建築業者の振興につながるものと期待される。

東建連で名簿作成中
東京都建築組合連合会(略称:東建連、島居治三郎会長)では、会員名簿を改訂することになり、現在年内発行を目指して作業を進めている。

東京都建築組合連合会(略称:東建連、島居治三郎会長)では、会員名簿を改訂することになり、現在年内発行を目指して作業を進めている。

東京都建築組合連合会(略称:東建連、島居治三郎会長)では、会員名簿を改訂することになり、現在年内発行を目指して作業を進めている。

賛助会員紹介

パルプセメント板協会
日本住宅物流センター
帝都建鉄工業

全建連共済制度は、半世紀に切迫するが、十月一日より三月三十一日までの受付はこのほど終了いたしました。十月一日現在の加入は、一六二二名です。

◆全建連共済本部より◆
来年度の「建築家日記」の見本ができました。携帯に便利な上、日程が目でわかるので仕事もはかまります。十一月五日まで受付いたしますので、各組合までお申し込み下さい。◆郵送価格四五〇円

池田 長五郎氏
秋田県建設技能組合連合会の池田長五郎事務局長は、十月三日逝去されました。六歳、慎しんでお悔み申し上げます。

共済
共済
共済

共済
共済
共済

◆監修 建設省住宅局建築指導課・住宅生産課 ◆推薦 住宅金融公庫・枠組壁工法普及協議会

枠組壁工法による住宅設計の手引

◆編集発行 日本建築センター ◆体裁 B5版 200頁(図面約200点) ◆発行 昭和50年12月 ◆価格 2,800円(送料200円)

〒104 東京都中央区晴海1-16-14 電話:531-6356 構造評定部

◆お申込先◆
(社) 全国中小建築工事業団体連合会
〒107 東京都港区赤坂2-2-19 (アドレスビル9階) 電話 583-3381

きりとり線

住所	〒	氏名	電話

◆目次◆
【基本設計】
○耐力壁工法の構造設計
○平面形状と開口部
○屋根
○開口部
○釘材

【実施設計】
・基礎
・床
・壁
・下地及び仕上げ(内外部)
・居住性

【資料編】
▼構造計算の基本式及び計算のケーススタディなど7資料